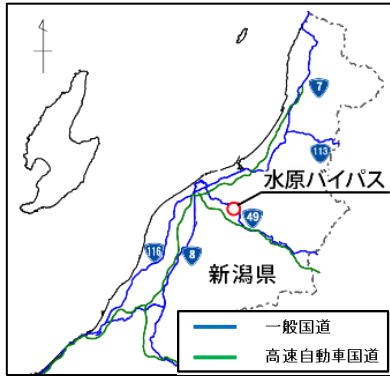




国道49号水原バイパスが 令和7年6月8日(日)に全線開通します



新潟国道事務所が整備を進めている国道49号水原バイパスのうち、
あがの じしや ももづ
阿賀野市寺社～百津間の延長2.7km区間が令和7年6月8日(日)に
開通します。

今回の開通により、国道49号水原バイパス全線の延長8.1kmが
暫定2車線で繋がります。

ももづ しもくろせ
(百津～下黒瀬間の延長5.4kmは、令和4年12月に開通済)

なお、開通時間や開通式典については、後日お知らせします。

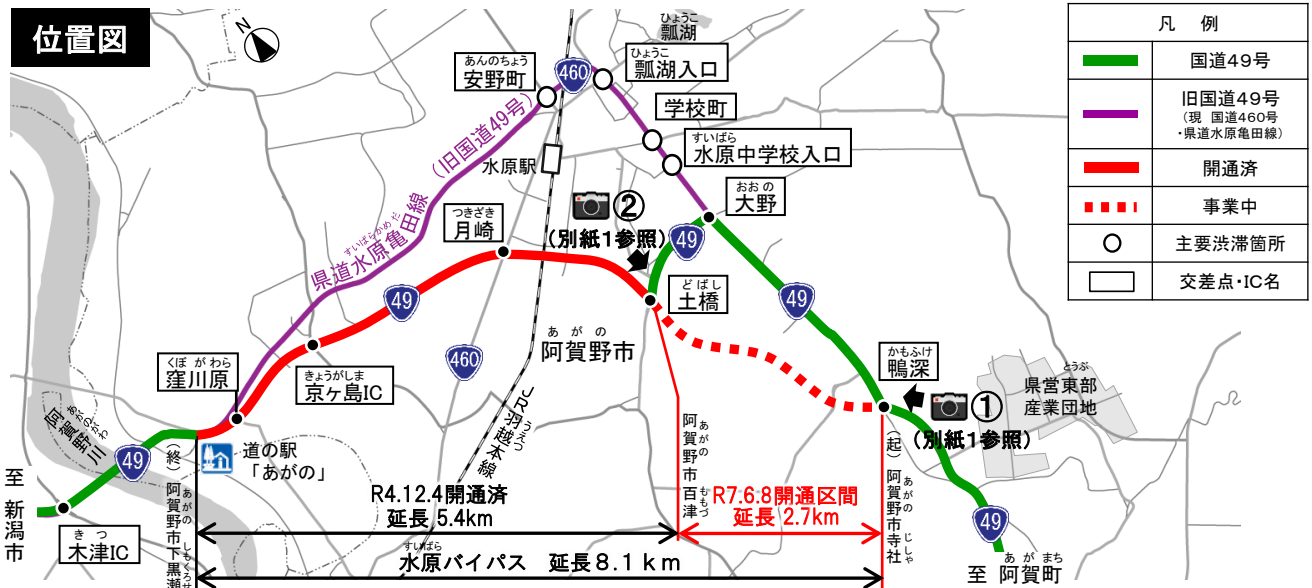
全線開通により期待される効果

【効果1】円滑な走行が可能

⇒ バイパスの整備により、主要渋滞箇所を回避し、円滑な走行が可能になります。

【効果2】産業及び物流を支援

⇒ 県営東部産業団地から新潟市内及び新潟東港へのアクセス性が向上し、地域産業の
発展及び物流を支援します。



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所

副所長(改築) 吉澤 覚 (よしざわ さとる) (内線204)

新潟市中央区南笹口2-1-65
電話 025-244-2159(代表)

<https://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/>
FAX 025-246-7759



【概要】

水原バイパスは、新潟県阿賀野市寺社から阿賀野市下黒瀬に至る延長8.1kmのバイパス整備事業です。

①整備状況(阿賀野市寺社から新潟市方面を望む)



区 間: (起)新潟県阿賀野市寺社
(終)新潟県阿賀野市下黒瀬
延 長: 8.1km
(既開通区間 5.4km)
(R7年内開通予定 2.7km)

事業経緯: H12年度 事業化
H15年度 用地着手
H17年度 工事着手
R 4年度 暫定2車線部分開通
阿賀野市百津～下黒瀬(延長5.4km)

(今回) R7年6月8日 暫定2車線全線開通予定
阿賀野市寺社～百津 (延長2.7km)

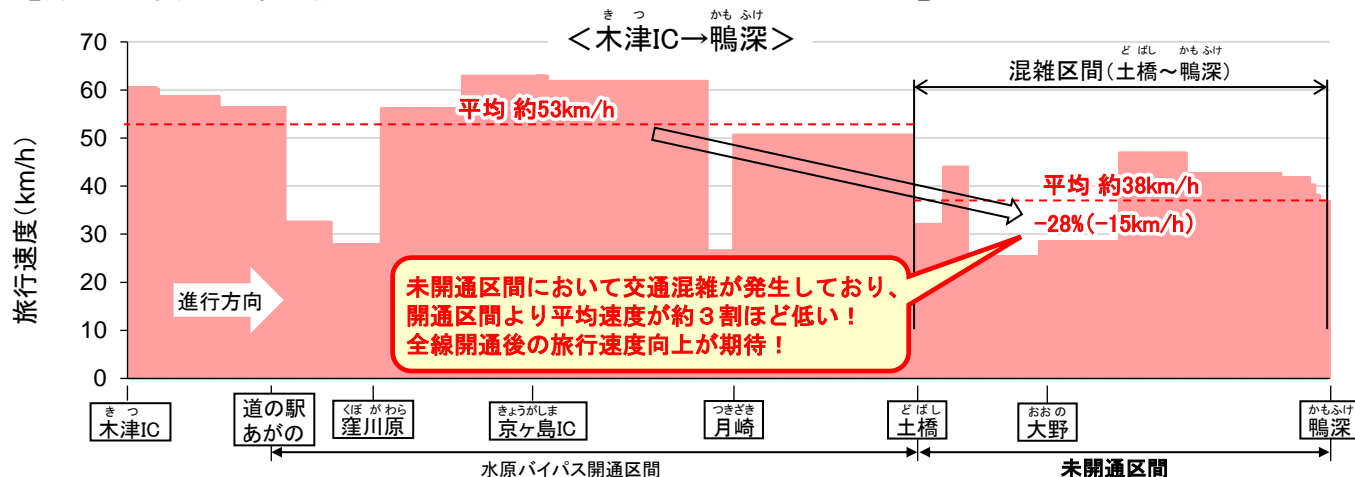
②整備状況(阿賀野市百津から阿賀町方面を望む)



【効果1】円滑な走行が可能

令和4年度の部分開通により、木津ICから土橋交差点間は円滑な走行が可能となりました。しかし、土橋交差点から鴨深交差点の未開通区間において、速度が低下しています。全線開通により、旅行速度が向上し、全区間において、円滑な走行が可能になります。

【旅行速度 上り線(朝ピーク7時~9時)※1(部分開通後の経路)】



※1 出典：ETC2.0プローブデータ R5.9平日平均



① 現道の混雑状況
(市野山交差点付近)

下図参照

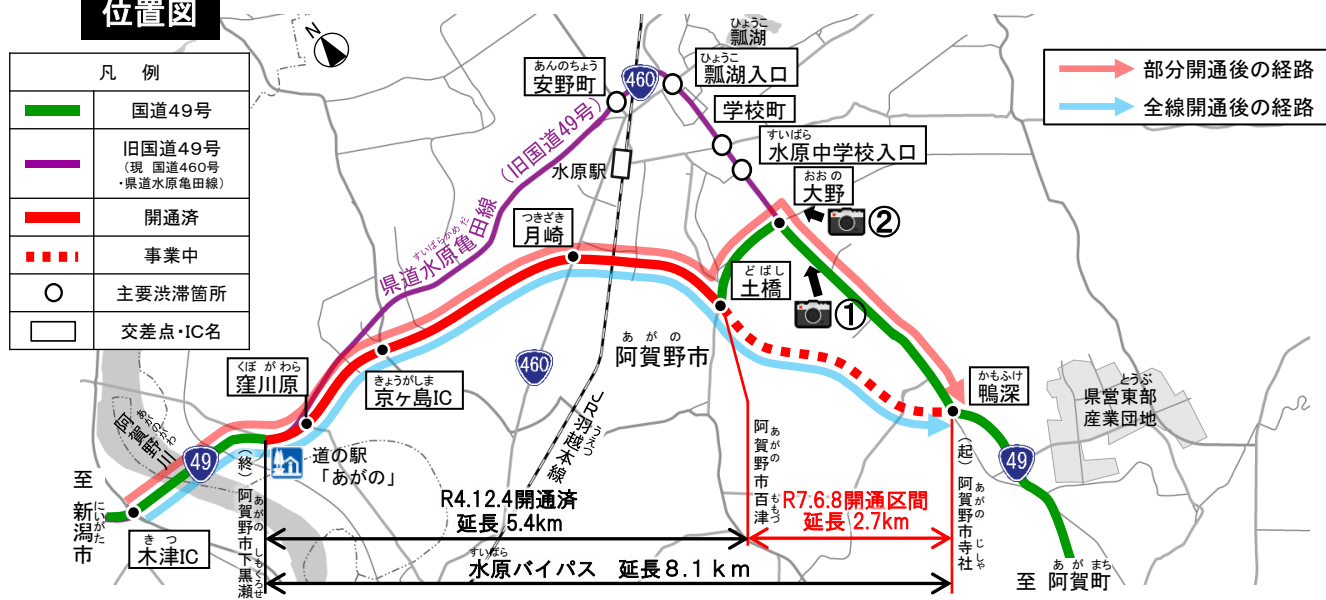


② 現道の混雑状況
(大野交差点付近)

下図参照

位置図

凡 例	
	国道49号
	旧国道49号 (現 国道460号 ・県道水原亀田線)
	開通済
	事業中
	主要渋滞箇所
	交差点・IC名



【効果2】産業及び物流を支援

県営東部産業団地は、新潟中心部や新潟東港と近い位置に立地する生産拠点です。
 全線開通により、県営東部産業団地から新潟東港や県外(新潟亀田IC経由)へのアクセス性が向上し、地域産業の発展と物流を支援します。

【水原バイパス全線開通後の経路】



県営東部産業団地 (全景) 出典:パンフレット(新潟県企業局)

【県営東部産業団地への企業進出状況】

